

# 大阪大学図書館報

Vol. 16, No. 3 September 1982

## 目 次

- 大阪大学学術情報問題懇談会の開催
- 大阪大学附属図書館電子計算機機種選定の経緯について
- 図書館の概況

## 大阪大学学術情報問題懇談会の開催

現在、各大学において学術審議会の答申「今後における学術情報システムの在り方について(昭和55年1月)」などを背景に、学内における今後の学術情報流通システムについて、様々な検討が行われており、一部の大学では既に具体的な構想が策定されている。本学でも、昭和57年3月に大阪大学学術情報問題懇談会が設置され、これまでに第1回(7月7日)、第2回(8月6日)が開催された。これは今後、更に数回開催され、学内における学術情報問題について種々の検討が行われることになっている。この懇談会で、附属図書館と大型計算機センターとのかわりなど本学の学術情報の在り方について、極めて示唆に富む発言がなされているので、この機会に懇談の内容の一端を御紹介することとし、ここに委員の御了解を得て第2回記録の抜粋を掲載することにした。なお、懇談会は次の委員によって構成されている。

座長 山田信夫教授 (附属図書館長)	委員 中馬一郎教授 (中之島地区・医)
委員 関谷 全教授 (大型計算機センター長)	委員 鈴木 胖教授 (吹田地区・工)
委員 横山 保教授 (情報処理教育センター長)	委員 千原秀昭教授 (理 学 部)
委員 浜上則雄教授 (豊中地区・法)	事務 今村慶之助 <small>事務部長</small> (附属図書館)

### (第2回懇談会記録抜粋)

第2回懇談会は始めに山田館長から「前回、話題となった懇談会の検討すべき範囲については、学内に学術情報以外の色々な情報があるが、この懇談会では学術情報を一応の範囲として検討したい」との発言があり、続いて、附属図書館事務部で作成した「大阪大学における学術情報のシステム化の理念と改善方策」、「大阪大学附属図書館業務電算化システム」等の資料に基づく説明に関連して、以下のような意見交換がなされた。

### 意見交換

**鈴木** 工学部の場合は図書館業務が学科単位に分かれており、しかも実際にはかなり多くの図書が更にその下の研究室単位で持たれている。何もかも一元化するとサービスが悪くなるという研究者側の意見がある。本館、分館、学科、研究室単位に分かれているものを統合化することはある意味では必要だが、それをやるためには現状を上回るサービスが必要である。

**今村** 大阪大学全体に対して高度な図書館サービスが行き届くような、整合性のあるシステムを構築していく必要があると考えている。ここでの(配付資料の「理念」でいう)集約化とはハードコピーを物理的に集めることではない。地域センターとして何をやるかについては学術情報センターシステム開発調査協力者会議で、今年度検討を行う予定とのことである。大阪大学内のサービスについては現在検討中であるが、主としてハウス・キープング主体のサービスを考えている。

**関谷** 大型計算機センターの方では少なくともデータ・ベース(以下「DB」と略記)関係については全国7センターで統一しようという動きがでている。大型計算機センターはN-1ネットワークで全国につながっているの、大型計算機センターを経由して図書館ネットワークを結ぶ方向が望ましい。

**横山** 通信回線についてはこれから色々な形で利用されるので、総合的なデータ配備とかネットワークを検討しなければむだができるし、もったいない。ネットワークを作ることは早急な問題だ。ローカルネットワークを組むことも促進したい。図書館の研究者に対するサービスとしてはDBのDBというようなDBガイドを持ったり、図書以外のDBを持つことが考えられる。図書館業務では所在、検索、貸出、コピーのファクシミリなどを、オンラインでサービスすることになると相当太い回線をひかなければならないが、光ケーブルをひくとファクシミリも送れる。今すぐ学術情報について高度なサービスということは難しいが、将来できるようになってくることを前提として、学術情報システムを考えることは図書館のサービスにとっては必要である。

**千原** 図書館の方では漢字処理が大きな問題である。大型計算機センターでは漢字処理ができるが、普及はしていない。大型計算機センターと図書館のハードウェアをつないだ場合、どういう情報が通りうるかという問題がある。現状ではN-1ネットワークが唯一のネットワークで、それは大型計算機センターがノードになっている。そうすると図書館が独立にN-1ネットワークのノードとして働くためには、ハードウェア的にもソフトウェア的にも色々なものをつけ加える必要があるの、むしろ大型計算機センター経由の方が楽である。大型計算機センターと図書館の各ハードウェア間で何が通過できるかは別の問題とすれば、ともかくつなぐとネットワーク経由で全国の大型計算機センターとつながる。各大学の図書館がそれをやればN-1ネットワーク経由で図書館相互がつながる。その場合、解決しなければならない問題がたくさんある。例えば、一方にアクセスしたら他方のコンピュータにもアクセスしたことになるような便利さが必要である。図書館にアクセスするには、あるユーザーIDとパスワードを入れなければならない。そして、大型計算機センターでつながった時点でまた今度は大型計算機センターのユーザーIDとパスワードを入れないとそれ以上はたらいてくれないというのでは困る。

**横山** 大阪大学でLC MARC(機械可読目録)を持つことが経済的なのかどうか。共同利用が考えられないか。

今村 MARC のDBを民博が持っているの、それを共同利用できないかという話は民博とはしている。従って、民博のDBを共同利用する可能性もある。7 GBのディスクの活用については、既に固定しているわけではないので、今後委員会等で有効利用について検討していただければと考えている。

浜上 現状と将来のビジョンがある。将来のビジョンで集中と分散をどの程度行うのか。それを描いて、例えば1年後、2年後、3年後だったらこういう見通しがある。だから、本学の場合はどれくらいのスケジュールでこういう方向にいったらよい、ということを描くことが必要ではないか。卑近な例としてS-450のターミナルを法学部資料室に置いてもらったら、その端末から図書館経由でロッキード社の法学文献DBを検索することができるかということに関心がある。今まで本については集中できたが、情報が本館に集中されて端末が各部局に配置されるようになれば本の配置については分散制でもよいのではないか。その方が能率的だと思われる。

千原 図書館の情報図書館化の目的は二つある。ひとつは省力化、もう一つは図書館利用上の地域格差をなくすこと。たとえば、図書の所蔵・所在・貸出情報がわざわざ図書館に行かなくても判るということが大事である。

中馬 医学部では現在、中之島分館でJOISを使っているが、その経済性を計算することが、今後の情報サービス体制を考える上で必要ではないか。

千原 文部省の協力者会議の目録部会ではMARCを重要なファイルと考えている。学術情報センター（以下「NC」と略記）が実際に動き出せば多分MARCをのせる。だからと言って全部がNCにアクセスすると混雑するおそれがあるし、通信回線料、利用率を考えると全国の地域センターにもMARCを置いた方が望ましい。ともかくNCが稼動するまでの間少なくとも阪大でMARCを置いておくことは意味がある。ただし、全部ロードする必要はない。その大学で必要な部分だけ採ればよい。汎用性があるものは全部NCが持つというふうには目録部会でも考えていない。他のDB（BIOSIS）等についても同じことが言える。

横山 大型計算機センターがDBを持ったこと自体がおかしいので、本来は図書館がDBを持ってサービスするのが筋である。（現状のようになったのは大型計算機センターの方に大型計算機、DBMS、OSがそろっていたのですぐにDBをのせることができたからである）利用者に通信回線などで負担をかけない。遠隔地にあっても回線料は図書館システムが持つ。図書館がDBを持って全体の学術情報流通システムを把握して管理するのが望ましい。

関谷 大型計算機センターではユーザー自身が開発した独自のDBだけしか扱っていないが、図書館の方では民間DBを導入するということなので、やり方はぜんぜん違うが、適当に分散されて労働力の点ではかえって都合がよいのではないか。DBは生き物だから修正やアップデートが必要である。大型計算機センターではDBの修正、アップデートは作成者側にまかせている。図書館側は既製品を入れるためどういうふうに修正・アップデートするかについては大もとから指示が来るので、DBの修正・アップデートを自動的にできる面がある。大型計算機センターでは作成者に聞かないと判らない。これまで、大型計算機センターにある独自のDBは熱心な関係者の努力と苦心の上に作成、運用されてきたことを理解して欲しい。これから図書館と大型計算機センターのハードウェア相互が密接につながると大型計算機センターがもっていない面がカバーできるので、図書館と組むことでプラスになる。

（以上抜粋）

## 大阪大学附属図書館電子計算機機種選定の経緯について

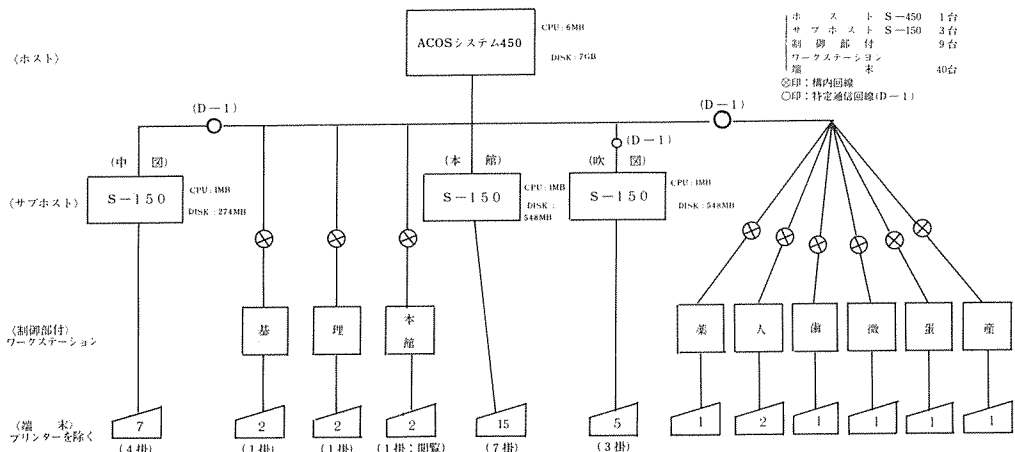
本学附属図書館に設置する電子計算機システムの機種選定は、「大阪大学附属図書館電算機機種選定委員会(委員長宮原情報処理教育センター助教授他5名)」(以下「機種選定委員会」という)がこれを行い、最終的に日本電気株式会社の ACOS システム 450 をセンターシステムとすることに決定されたことは前号(Vol. 16, No. 2)でご案内のとおりである。

機種選定委員会は、第3回委員会(5月27日開催)において、上記機種を内定した。その後機種選定委員会委員長の指導の下に、事務側でメーカー側と細部についての交渉、関係機関との連絡・調整等を行い最終的に昭和57年6月15日に決定に至ったものである。以下に機種選定委員会での検討、経緯の概要およびシステムの機器配置の概略を紹介する。

機種選定の作業として先ず、事務側で大手電算機メーカー等6社を選定し、昭和57年3月29日にシステム提案書の提出依頼を行ったところ4月14日迄に4社よりシステム提案書を受理した。第1回機種選定委員会(昭和57年5月6日)において、4社のシステム提案書の比較検討が行なわれ、次回からの選定作業の対象を2社に絞ることとした。システム提案書(第一次提案書)上での2社の比較上の特徴は、ハードウェアの全体構成において、1社はホストシステムに CPU:6MB、DISK:3.8GB 端末には非インテリジェント端末を配するホスト集中処理の形(但し、中之島・吹田両分館には、閲覧業務専用的小型コンピュータを置く)をとるのに対し、日本電気はホストに ACOS システム450(CPU:6MB、DISK:10GB)を配し、これを MARC 等書誌データベース提供の為のデータベース・マシンとし、実際の業務処理には本・分館(室)にその業務量に応じて相当容量の CPU およびディスクを持つ小型電算機を配する分散型の構成であることであった。

第2回機種選定委員会(昭和57年5月12日)においては、2社の説明会ののち、検討が行なわれ、閲覧業務のローカル処理化などについて、質問票に基づく第2次提案を求めることとした。第3回機種選定委員会(昭和57年5月27日)において、上記第2次提案の結果が報告され種々検討ののち、これまでの審議を踏えて機種選定に対する意見が出され、最終的に委員会として一致して若干の条件を付して、日本電気(株)提案システムを推薦することに決定した。

### 大阪大学附属図書館(学術情報システム地域センター館)業務電算化システム機器配置概略図



## 図書館の概況(Ⅰ) 昭和56年度

区 分	本 館	人間科学 部分室	理学部 部分室	基礎工 部分室	中之島 分館	微 研 分室	蛋白研 分室	吹 田 分館	産 研 分室	薬学部 分館	合 計	昨 年 度	
蔵 書・ 受 入	蔵 書 数	875,887	82,338	112,114	87,590	198,176	20,142	9,926	285,555	36,397	26,993	1,735,118	1,655,086
	年間受入冊数	43,199	7,895	4,042	4,126	7,966	866	616	11,751	1,109	1,144	82,714	83,708
	純 増 冊 数	42,671	7,895	4,029	4,126	7,966	866	616	10,113	606	1,144	80,032	79,348
	雑誌所蔵 タイトル数	10,134	1,039	1,306	1,306	7,597	169	297	5,379	792	387	28,406	27,720
	現 行 受 入 タイトル数	7,139	917	595	1,022	5,063	274	282	2,565	440	230	18,527	18,052
施 設 ・ 職 員	図書資料 費(千円)	283,308	51,318	52,526	67,918	133,578	7,345	6,877	146,345	21,966	14,268	785,449	749,700
	建物面積(㎡)	9,488	543	677	453	2,638	267	266	2,957	307	349	17,935	15,997
	座 席 数	968	53	52	45	164	13	19	216	24	50	1,604	1,657
利 用 ・ 貸 出	職員数(内定員)	50(32)	3(3)	5(2)	6(6)	27(13)	2(2)	2(2)	14(7)	3(3)	5(3)	117(73)	115(75)
	利用対象者数 (学生・教育職)	6,297	393	995	1,460	2,396	75	45	3,138	95	343	15,237	14,971
	入 館 者 数	574,126	-	-	-	127,627	-	-	129,527	13,320	-	844,600	826,878
	館外貸出入数	32,107	1,864	12,157	8,976	23,004	2,750	1,637	23,183	1,342	3,052	110,072	110,881
文 献 複 写	館外貸出冊数	87,038	2,501	15,467	11,776	30,037	4,387	2,645	32,582	2,128	4,030	192,591	187,956
	受 付 冊 数 (部内)	0	0	230,534	205,208	0	216,167	209,134	0	164,462	294,484	1,319,989	1,258,642
	受 付 件 数 (学内)	2,703	53	1,843	618	78,441	623	426	1,581	983	996	88,267	60,827
図 書 館 間 文 献 複 写	受 付 件 数 (学外)	2,744	0	1,993	950	134,361	0	0	1,263	0	1,263	142,574	117,522
	依 頼 件 数 (学内)	157	316	1,138	1,035	492	720	605	518	82	477	5,540	3,728
	依 頼 件 数 (学外)	870	277	231	663	1,605	135	83	524	37	218	4,643	5,053
	受 付 件 数 (学内)	515	53	1,843	438	2,524	623	426	437	983	504	8,346	7,834
図 書 相 互 貸 借	受 付 件 数 (学外)	2,691	0	1,007	950	20,745	0	0	1,272	0	252	26,917	23,503
	依 頼 件 数 (学内)	341	419	450	116	238	124	28	41	46	73	1,876	4,017
	依 頼 件 数 (学外)	161	0	0	0	20	0	0	12	0	1	194	135
	受 付 件 数 (学内)	1,488	84	116	47	371	136	74	85	4	303	2,708	3,271
参 考 調 査	受 付 件 数 (学外)	131	0	0	0	7	0	0	11	0	1	150	125
	文献所在調査	6,858	53	1,549	1,970	4,116	-	1,500	3,253	2,240	-	21,539	18,953
	事 項 調 査	152	10	316	186	354	-	-	275	57	-	1,350	1,156
	利 用 指 導	559	-	289	36	945	-	-	453	415	-	2,697	2,232
	主題書誌作成 機 構 検 査 マニユアル検査	83 2	0 0	0 0	0 0	840 8	24 0	0 0	260 0	0 0	0 0	1,207 10	1,019 24
SDIサー ビ ス 登 録 件 数	0	0	0	0	151	18	0	5	0	0	174	164	

## 図書館の概況(Ⅱ) 昭和56年度(部局別)

区 分		蔵書数(冊)	図書館(室)		年間受入冊	純増冊数	雑誌所蔵 タイトル数	現行受入 タイトル数	図書資料費 (千円)	図 書 雑 誌	
			部	局 講座・学科						図 書	雑 誌
本 館	和	516,751	—	—	23,702	23,568	6,327	4,993	99,955	82,203	17,752
	洋	359,136	—	—	19,497	19,103	3,807	2,146	183,353	129,766	58,587
	計	875,887	471,966	403,921	43,199	42,671	10,134	7,139	283,308	211,969	71,339
	図 書 館	176,529	163,045	13,484	11,314	11,180	2,104	984	53,411	41,929	11,482
	文 学 部	222,946	96,690	126,256	9,858	9,464	1,831	1,579	63,222	58,060	5,162
	法 学 部	121,263	31,991	89,272	4,876	4,876	967	791	42,424	33,182	9,242
	経 済 学 部	129,496	104,187	25,309	5,929	5,929	2,641	2,256	40,602	27,629	12,973
	教 養 部	175,957	74,218	101,739	6,184	6,184	880	557	47,578	24,576	23,002
	言 語 文 化 部	25,719	1,835	23,884	3,444	3,444	404	366	22,245	19,235	3,010
	健 康 体 育 部	1,893	0	1,893	396	396	37	180	3,376	2,885	491
	社 会 経 済 研 究 所	22,084	0	22,084	1,198	1,198	1,270	426	10,450	4,473	5,977
	和	25,414	—	—	2,104	2,104	523	443	11,290	8,846	2,444
	洋	56,924	—	—	5,791	5,791	516	474	40,028	32,455	7,573
	計	82,338	6,906	75,432	7,895	7,895	1,039	917	51,318	41,301	10,017
小 計	958,225	478,872	479,353	51,094	50,566	11,173	8,056	334,626	253,270	81,356	
理 学 部 分 室	和	18,451	—	—	577	577	232	84	4,599	3,798	801
	洋	93,663	—	—	3,465	3,452	1,074	511	47,927	15,823	32,104
	計	112,114	42,293	69,821	4,042	4,029	1,306	595	52,526	19,621	32,905
	和	25,883	—	—	1,132	1,132	425	347	8,529	3,656	4,873
	洋	61,707	—	—	2,994	2,994	881	675	59,389	17,563	41,826
	計	87,590	46,039	41,551	4,126	4,126	1,306	1,022	67,918	21,219	46,699
合 計	1,157,929	567,204	590,725	59,262	58,721	12,785	9,673	455,070	294,110	160,960	
中 之 島 分 館	和	70,159	—	—	2,263	2,263	1,045	734	15,235	11,241	3,994
	洋	128,017	—	—	5,703	5,703	6,552	4,329	118,343	24,072	94,271
	計	198,176	173,479	24,697	7,966	7,966	7,597	5,063	133,578	35,313	98,265
	和	3,797	—	—	57	57	15	47	300	179	121
	洋	16,345	—	—	809	809	154	227	7,045	2,824	4,221
	計	20,142	15,234	4,908	866	866	169	274	7,345	3,003	4,342
	和	964	—	—	74	74	110	109	532	311	221
	洋	8,962	—	—	542	542	187	173	6,345	771	5,574
	計	9,926	8,608	1,318	616	616	297	282	6,877	1,082	5,795
	合 計	228,244	197,336	30,908	9,448	9,448	8,063	5,619	147,800	39,398	108,402
吹 田 分 館	和	128,338	—	—	4,514	3,263	2,314	1,000	37,757	27,161	10,596
	洋	157,217	—	—	7,237	6,850	3,065	1,565	108,585	38,618	69,967
	計	285,555	86,849	198,706	11,751	10,113	5,379	2,565	146,345	65,779	80,566
	図 書 館	86,849	86,849	0	3,304	2,058	2,139	946	26,913	16,166	10,747
	工 学 部	186,657	0	186,657	7,057	6,665	2,984	1,422	16,371	42,219	61,152
	溶 接 工 学 研 究 所	1,508	0	1,508	215	215	69	57	3,029	1,606	1,423
	レ ー ザ ー 研 究 セ ン タ ー	1,647	0	1,647	246	246	31	24	2,220	920	1,300
	核 物 理 研 究 セ ン タ ー	6,148	0	6,148	594	594	48	43	7,650	3,925	3,725
	大 型 計 算 セ ン タ ー	2,746	0	2,746	335	335	108	73	3,162	943	2,219
	和	9,964	—	—	190	—313	190	164	2,196	747	1,449
	洋	26,433	—	—	919	919	602	276	19,770	5,805	13,965
計	36,397	23,128	13,269	1,109	606	792	440	21,966	6,552	15,414	
合 計	321,952	109,977	211,975	12,860	10,719	6,171	3,005	168,311	72,331	95,980	
薬 学 部 分 館	和	10,862	9,969	893	397	397	153	99	2,132	1,342	790
	洋	16,131	14,979	1,152	747	747	234	131	12,136	2,768	9,368
	計	26,993	24,948	2,045	1,144	1,144	387	230	14,268	4,110	10,158
總 合 計	1,735,118	899,465	835,653	82,714	80,032	28,406	18,527	785,449	409,949	375,500	

大阪大学図書館報 Vol. 16, No. 3 通巻68号 昭和57年9月1日発行(隔月刊)

発行所 大阪大学附属図書館 豊中市待兼山町1の1 (〒560) ☎ 06(844)1151 内線2355